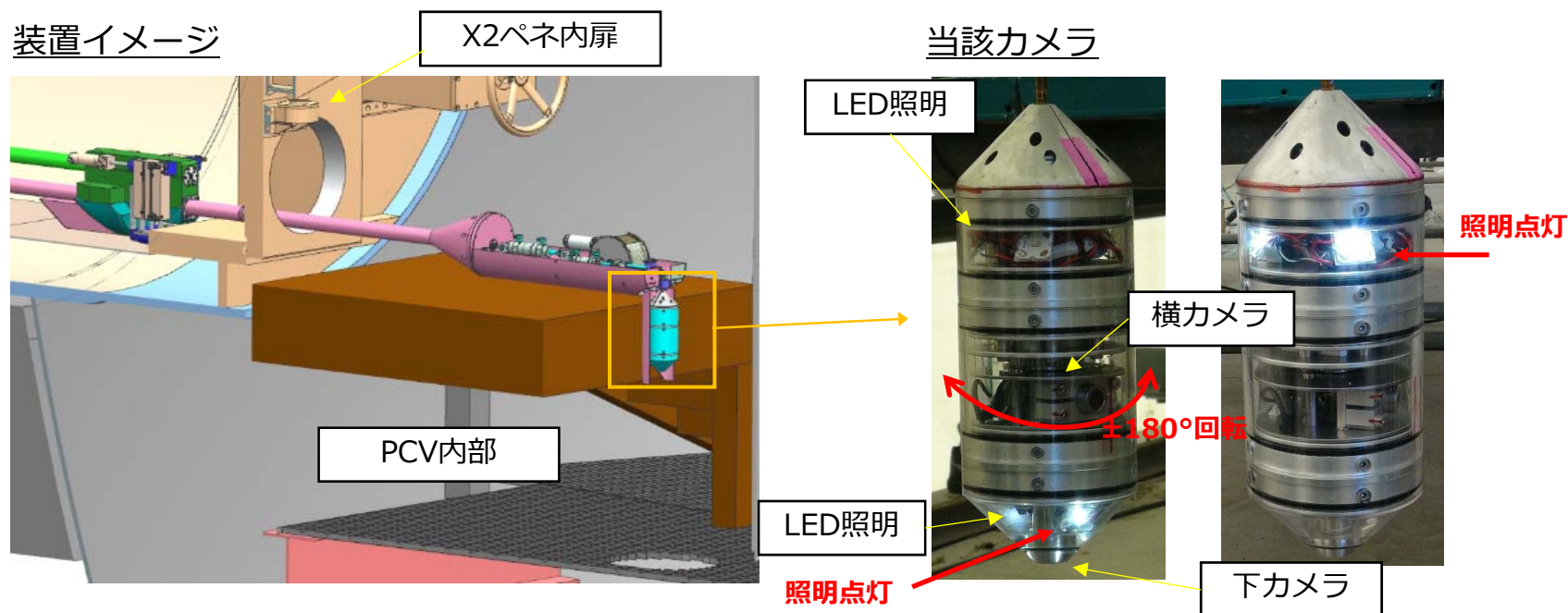


【概要】

- 1号機原子炉格納容器（以下「PCV」）アクセスルート構築作業においては、2020年9月30日にグレーチングの下部に計装配管があることを確認したことから、PCV内を詳細に調査するためのカメラ（以下「当該カメラ」）を新たに開発し、PCV内干渉物調査を行う予定としていました。
- 2021年1月21日、PCV内干渉物調査の準備作業を行っていたところ、PCV圧力が低下しました。（2021年1月22日お知らせ済み）
- PCV圧力が低下した原因は、カメラチャンバ取付の際に外力が加わったことから、X-2ペネトレーション外扉のシール部から漏えいが発生したものと推定しました。対策としてX2ペネ外扉とX2ペネのシール性補強や、カメラチャンバ取付の際に外力が加わらないように取付方法の改善、AWJガイドパイプへのサポート追設を実施することで、当該カメラを使用したPCV内干渉物調査を実施することとしました。（2021年2月25日お知らせ済み）
- その後、2月19日に1号機PCV内の水位低下が確認されたことから、念のため現地作業を中断しましたが、PCV圧力低下対策が水位低下を助長するものでないことを確認し、PCV圧力低下対策作業を4月6日より開始しました。（2021年4月5日お知らせ済み）
- 4月19日に当該対策が完了したことから、明日（4/23）より当該カメラを使用したPCV内干渉物調査を実施する予定です。
- 作業にあたっては、PCV圧力を監視しつつ、ダストモニタで作業エリアのダスト濃度を適切に確認しながら、万が一異常が確認された場合は必要な措置を実施するなど、周辺環境に影響を与えぬよう、また、安全を最優先に、慎重に進めてまいります。

# 【参考】 干渉物調査の概要、PCV圧力・ダスト濃度の監視



監視パラメータ	監視頻度	判断基準	逸脱時の対応
・ PCV圧力	カメラチャンバ取付 及び隔離弁開から 10分間は常時監視	異常な圧力変動がないこと (気圧変動に伴う圧力変化 以外)	PCV内部との隔離を優先して実施 その後作業中断、現場から待避 圧力の変化を確認、圧力変動対応 実施
	10分以降は毎時監視 とし、隔離弁閉ま では継続して監視		
・ 作業エリア ダスト濃度	作業中常時	$2.5 \times 10^{-3} \text{ Bq/cm}^3$ 以下	作業中断、現場から退避、高ダスト 対応実施